



館内屋/エビス食堂 代表
佐藤 健一郎さん

飲 食店の力でまちを盛り上げ
市の発展につなげたい。



こがむパン 店主
緒方 雄太さん

店 舗だけでなくイベントにも
若者を呼ぶことでまちに貢献したい。



グロースオート 代表
中原 健児さん

地 元のように接してくれた
人やまちに恩返しをしたい。

炭火酒場 一輝 店主
城尾 竜司さん

子 どもたちのためにも
まつりやイベントを残していきたい！



(株) 増田建設 代表取締役
増田 大輔さん



DINING HAUNT 代表
池田 俊久さん

生 まれ育ったまちのために
何かをすることは当たり前！と思って育ってきた。



市 が盛り上がってるところを
多くの人に見てもらいたい！

若い力で 神埼を元気に！

大人も子どもも楽しめるイベントを通してまちを盛り上げたいと活動を行っている「かんざき神幸食フェスタ実行委員会」。
実行委員は市内飲食店主や商工会青年部員で構成されています。
今回はそんな実行委員の皆さんの熱い思いを伺ってきました。



「食を通じて神埼市を元気にしたい」と思って食フェスを提案した」と話すのは神幸食フェスタ（以下、食フェス）発起人の佐藤さん。平成30年の初開催時は実行委員メンバーの予想を大きく上回り大盛況。それから毎年開催し、今年で7回目となりました。

準備、運営、会場設営などすべて実行委員自ら行っています。「一番苦労することは協賛金集めですね」と実行委員長池田さん。初年度から現在もメンバー自らが時間を作って市内企業に出向き、協賛依頼を行っています。

本業の傍らここまで頑張れる理由は「まちを盛り上げたいから」「地元の良さを伝えたいから」という熱い思い。

今年はステージイベントを充実させたいと開催時間を伸ばしたり、SNSによる情報発信に力を入れたり新たなチャレンジを行いました。

そんな実行委員の思いが詰まった今回の食フェス。2日間とも大盛況で終了しました。

次に彼らが目指すのは7月開催予定のかんざき宿場まつり。これからも皆さんの活動は続いています。



第7回
かんざき神幸
かみさち
食フェスタ
Kanzaki Kamisachi Food Festival

4月19日・20日に長崎街道門前広場で開催。
2日間で来場者約18,000名と大盛況！
実行委員の熱意とおもてなしの心が
伝わる素敵なイベントになりました。



3/10 新1年生に安全を 交通安全を祈願し名札寄贈

神崎市老人クラブ連合会神埼支部女性部（松永栄子部長）は、毎年、神埼町の各小学校に入学する新1年生へ、交通安全を祈願した名札を作成しています。

今年も女性部代表が各小学校を訪問して寄贈しました。松永部長は「交通安全はもとよりいろいろな事故や災害に気をつけ、楽しい学校生活を過ごしてもらいたい」と話し、各小学校の校長は「こどもたちのために大変ありがたい」と感謝の言葉を伝えました。



3/24 災害時には避難施設として活用も 日の隈にコンテナホテル開業

神埼町尾崎に株式会社デベロップ（千葉県市川市）が運営するコンテナホテルが開業しました。ホテルは建築用コンテナを活用しており、客室数は41室で各室内にはベッド・ユニットバス・冷蔵庫・電子レンジなどが備えられています。

また、1室ごとに移動できる独立構造が特徴で、災害時には被災地へ移設して避難所などに活用することもできます。

市は同社と災害時の施設提供に関する協定を結び、市長は「防災力強化だけでなく、観光や企業誘致でも力になる」とホテル開業に期待を示しました。



3/27-29 中学生剣士が熱戦 神崎市長旗剣道大会

文部科学大臣杯神崎市長旗第36回全国選抜中学生剣道大会が神埼中央公園体育館で行われ、中学生剣士が熱戦を繰り広げました。

全国各地から男女合わせ160チームが出場。市内の中学生も出場し、全国の強豪を相手に奮闘しました。

大会では、男子は九州学院中（熊本県）、女子は大和中（佐賀市）が優勝しました。



3/27 プラスチックごみ削減に向けて 市役所にマイボトル用の給水機設置

市は浄水型ウォーターサーバーのレンタルを行う、ウォータースタンド株式会社（埼玉県さいたま市）とプラスチックごみ削減推進に関する協定を結び、市役所1階に給水機を設置しました。

同社は、2030年までに国内の使い捨てプラスチックボトルを30億本減らす目標を掲げ、100を超える自治体に給水機の提供を行っています。

締結式で市長は「環境問題への取組を一緒に推進したい」と話しました。



▲ウォータースタンドはどなたでもご利用できます。
(マイボトルなどをご持参ください)

4/10 支援を必要とされている家庭に配布 鳥栖キューピーからベビーフード寄贈

鳥栖キューピー株式会社から、市と市社会福祉協議会へベビーフード590食の寄贈がありました。

寄贈式で、同社の春日井篤社長は「子育てでお困りの世帯などのために役立てていただきたい」と話され、市長は「市で子育てに関する施策を展開しているため大変ありがたい。色々な場面で活用させていただきたい」とお礼を述べました。

いただいたベビーフードは、市と社会福祉協議会で連携・協力し乳児健診や職員の定期的な訪問などの際に、支援を必要とされている家庭に配布する予定です。



3/30 新フォトスポット登場 高取山公園春まつり2025

高取山公園で「高取山公園春まつり2025」が開催されました。県内外から約800人が来場し、シャボン玉ショーや抽選会など公園内は親子連れで賑わいました。

また、約50人の応募の中から採用された麻生大地さん（福岡県糸島市）がデザインした「顔はめパネル」がお披露目され、記念品の贈呈が行われました。

麻生さんは「家族で楽しく遊べるローラー滑り台が素敵でデザインした」と話されました。



4/11 千代田中新1年生に 無事故を願い 反射タスキ贈呈

今年も、交通安全協会千代田支部から千代田中学校の新1年生に反射タスキが贈られました。同協会支部長の垣副直幸さんは「自転車に乗るときは反射タスキを着用し、交通ルールを守って3年間の中学校生活を楽しんでください」と生徒の安全を願いました。

反射タスキは、早朝や夕方に着用することでドライバーから発見されやすくなります。交通事故から身を守るために、登下校時には反射タスキを着用し、交通事故ゼロを目指します。

